

# クルーズ対応の旅客施設整備

## 1. 日本一の国際乗降客数

○国際乗降客数 21年連続**日本一**  
約 63 万人 (H25速報値)



(参考) 空港を含む港別乗降客数(H24)

順位	施設名	乗降客数 (万人)
1	成田空港	2,677
2	関西空港	1,105
3	羽田空港	793
4	中部空港	440
5	福岡空港	298
6	新千歳空港	108
7	<b>博多港</b>	<b>85</b>
8	那覇空港	59

## 2. アジアクルーズの状況

### クルーズ人口の拡大

2012年 2020年  
アジア：約130万人→約380万人 (約3倍)  
日本：約20万人→約77万人 (約4倍)  
※「アジア・クルーズ産業白書」より

### クルーズの新しい動き



- ・日本発着クルーズの増加
- ・テーマ性を持ったカジュアルクルーズ

### アジア諸港のターミナル整備状況

- 上海港 (2011年)
- シンガポール港 (2012年)
- 香港港 (2013年)
- 釜山港 (2014年)

## 3. 博多港のポテンシャル



2010年・2012年 外国クルーズ寄港数 日本一

## 4. クルーズ客船の受入体制



3隻合計で約6,000人が同時に来福 (2012.6.30)

2012年のクルーズ客船の福岡市への経済波及効果 約60億円

## 5. クルーズの受入環境の課題

- インバウンド**
  - 船内での入国審査 (船内のレストラン等を活用)
  - 受入機能の不備 (日差しや風を遮る屋根がない)
- アウトバウンド**
  - 博多港国際ターミナルでは、400人規模が限界 (手荷物は仮設テントで対応, 屋外で受付する場合もある)

## 6. 平成26年度 of 取組み概要

多目的に利用できるクルーズ対応の旅客施設整備

- ・構造等  
平家建, 約2,500㎡ (CIQ及び待合機能)
- ・入国審査  
20ブース  
※博多港国際ターミナル8ブース
- ・事業費  
約7億円
- ・供用時期  
平成27年春(予定)

